

資 料

オニバス関連文献リスト*

三浦 憲人

Reference List of *Euryale ferox* Salisb.

Norihito MIURA

はじめに

鳥根県において、オニバス *Euryale ferox* Salisb. は絶滅危惧 I 類として扱われているだけでなく、2010 年（平成 22 年）に、鳥根県希少野生動植物の保護に関する条例により、保護対象種として扱われている。そのため、本種の自生地および移植地は保護対象となっている。公益財団法人ホシザキグリーン財団では、2005 年（平成 17 年）から、ふるさと尺の内公園の人工池内において、県内に自生していたオニバスの株を譲り受け、栽培・系統維持を行っている。ふるさと尺の内公園の人工池への移植当初は 1 株から始まったが、一年草であるオニバスの栽培を継続し続けて、ほぼ毎年十数株が 1 m 以上の葉を水面に広げ、秋には 1000 ~ 2000 粒の種子を採取することができるようになっていく。

このふるさと尺の内公園におけるオニバスの栽培・系統維持を行う上で、文献情報は欠かせないものであった。特に兵庫・水辺ネットワーク（2000）や角野（2003）により、大変多くの文献が存在していることを知り、情報収集の面で大変役立った。また、オニバスは絶滅危惧種に指定されていること、葉の大きさや特徴からも人々の目をひくことから、生態への興味について調査研究が行われ、報告されている。今回、オニバスに関する文献を以下に示した。これら文献に関しては、実際の原著もしくは複写により内容を確認した文献 282 報と、実際の原著および複写からの内容を確認できてはいないが、各文献に引用されている文献 60 報についても、わかっているものについてはできるだけ載せた。

オニバスについて 300 報以上のこれほど多くの

文献が存在していることは、本種が大変興味深い種であることを物語っているといえる。しかし、その生態はいまだ謎が多く、種子の発芽条件についても、はっきりとした要因が見つけられたとはいえない状態である。そのため、1 度は絶滅と思われていた自生地に、20 年 30 年ぶりに発芽を確認するなど、思いもよらない生態を見せることもある。

今後も、ふるさと尺の内公園のオニバスの調査を続けることで、本種の生態を少しでも明らかにしていくとともに、文献調査も継続したいと考えている。

オニバスの文献を集める上で、角野康郎博士、林 成多博士に文献を提供いただきました。記して深謝いたします。

文献リスト

- 【原著または複写物にて内容を確認できた文献】
無署名（1888）おにばすノ花. 植物學雜誌, 2: 87. (雑録)
阿部利夫（1982）福島潟のオニバス. 「福島潟の自然」: 74-79.
青木雅夫（1982）館林市におけるオニバスの生育地. 水草研究会会報, (10): 10.
荒金正憲・辻 寛文（1995）大分県におけるオニバスの産地. 大分県の植物, (5): 17-21. (兵庫・水辺ネットワーク, 2000 オニバス文献集より)
Diao, Y., Chen, L., Yang, G., Zhou, M., Song, Y., Hu, Z. and Liu, J. Y. (2006) Nuclear DNA C-values in 12 species in Nymphaeales. *Caryologia*, 59: 25-30.
Dutta, R. N., Jha, U. N. and Jha, S. N. (1984) Water quality and soil properties of ponds as influenced by Makhana (*Euryale ferox*) cultivation. *Plant and Soil*, 80: 441-445.
Dutta, R. N., Jha, U. N. and Jha, S. N. (1986) Relationship of biomass yield of makhana (*E. ferox*) with soil properties and water quality. *Plant and Soil*, 95: 345-350.
Dutta, R. N., Jha, S. N. and Jha, U. N. (1986) Plant contents and quality of makhana (*Euryale ferox*).

*ホシザキグリーン財団研究業績 第 353 号

- Plant and Soil*, **96**: 429-432.
- 榎本 敬・狩山俊悟・小畠裕子・稲若邦典・藤野睦子・池畑怜伸・片山 久・木下延子・小畠辰三・石橋 猛・渡辺 修 (1995) 岡山県南部において絶滅が危惧される水草の種類と分布. 倉敷市立自然史博物館研究報告, (10): 15-41.
- 藤平 明 (1996) 南淡町のオニバス, *Awajiensis*, **4**: 7-8. (兵庫・水辺ネットワーク, 2000 オニバス文献集より)
- 藤井伸二 (1998) オニバスの葉に人は乗れるのか?—学芸員体験コース・オニバス班の記録 1—. *Nature Study*, **44**: 122-124.
- 藤井伸二 (1999) 今川のオニバスは何個体?—学芸員体験コース・オニバス班の記録 2—. *Nature Study*, **45**: 91-92.
- Fujii, S. (2003) Notes on seed set ratio variation and reproductive plant size in *Euryale ferox* (Nymphaeaceae). *Bulletin of the Osaka Museum of Natural History*, (57): 29-32.
- 藤井伸二 (2007) 新潟県福島潟でみたオニバス埋土種子の例. 水草研究会誌, (86): 26-28.
- 藤本博文 (2003) 香川県におけるネクイハムシ 2 種の記録. へりぐろ, (24): 83-87.
- 藤本義昭 (1998) 兵庫県のオニバスの思い出. 兵庫の植物, (8): 119-122. (兵庫・水辺ネットワーク, 2000 オニバス文献集より)
- 福岡義洋・浅野守彦 (2005) 愛知県大府市蛇ヶ寝池のオニバス. ため池の自然, (41): 18-20.
- 福岡義洋・浅野守彦 (2005) 愛知県大府市蛇ヶ寝池のオニバスは飛山池のオニバス. 水草研究会誌, (82): 469.
- 福岡国博・吉野秀昭 (1960) オニバスの生態. 熊本生物, (1): 4-11.
- 萩原武平 (1993) 鬼蓮ニツイテ. 水草研究会会報, (51): 32-34.
- 浜島繁隆 (1977) オニバス生育地の追加—水草雑誌 (6). 植物採集ニュース, (94): 122.
- 浜島繁隆 (1977) ため池の植生. 植物と自然, **11** (7): 1-2, 7-10.
- 浜島繁隆 (1977) ため池の水草—その特性と観察一. 植物と自然, **11** (9): 2, 19-23.
- 浜島繁隆 (1977) ため池の水草—その芽ばえの観察一. 植物と自然, **11** (10): 19-21.
- 浜島繁隆 (1978) ため池の水草調査 2. 静岡, 愛知のため池. 植物と自然, **12** (13): 16-18, 26.
- 浜島繁隆 (1979) 「池沼植物の生態と観察」. 110pp. ニューサイエンス社, 東京.
- 浜島繁隆 (1980) 池沼・湿原の天然記念物. 植物と自然, **14** (7): 29-34.
- 浜島繁隆 (1981) ため池の水草とその生態—生育と繁殖の様式一. 植物と自然, **15** (9): 28-32.
- 浜島繁隆 (1990) 2 植生と棲み分け d 池沼と水路. 自然史編纂調査会 (企画・編集). 「東海の自然史」: 126-131. 財団法人東海財団, 名古屋.
- 浜島繁隆 (1991) 飛山池 (愛知県知多郡東浦町) に 8 年ぶりにオニバス出現. ため池の自然, (14): 4.
- 浜島繁隆 (1996) 名古屋城外堀の水生植物の変遷. ため池の自然, (24): 4-5.
- 濱谷修一 (1993) オニバスの温室内での生育. 広島市植物公園栽培記録, (14): 19.
- 濱谷修一・橋本清美 (1995) オニバスの花芽形成に及ぼす短日条件の影響. 水草研究会会報, (55): 17-18.
- 濱谷修一・橋本清美 (1997) 温室内でオニバスの冬越しに成功. 水草研究会会報, (62): 25-26.
- 濱谷修一・原田尋美・橋本清美 (1999) オニバスの生育に及ぼす光の影響. 広島市植物公園紀要, (18): 61-66.
- 橋本光政 (2013) 「兵庫県 花の歴史探訪」. 358pp. 自費出版.
- 橋本卓三 (1986) 福山市千塚池のオニバス. 水草研究会会報, (26): 6-11.
- 橋本卓三 (1987) 広島県深安郡一帯のオニバスの自生地. 水草研究会会報, (30): 9.
- 橋本卓三 (1988) 広島県, 芦田川下流域におけるオニバス自生地の消滅. 水草研究会会報, (33-34): 27-30.
- 橋本卓三 (1991) 千塚池 (福山市) のオニバス 天然記念物指定へ. 水草研究会会報, (43): 26.

- 橋本卓三 (1992) オニバス種子の発芽観察. 水草研究会会報, (46): 33.
- 橋本卓三 (1996) 千塚池オニバス群落のその後. 水草研究会会報, (58): 25-26.
- 橋本卓三 (2004) 調整池にオニバスが群生. 水草研究会誌, (80): 41.
- 橋本裕美子・飯島 博・鷺谷いづみ (2001) 絶滅危惧植物オニバスとミズアオイの繁殖生態とビオトープにおける管理. 保全生態学研究, **6**: 29-43.
- 波田善夫 (1988) オニバスの復活. 水草研究会会報, (33・34): 31-33.
- 波田善夫 (1993) オニバス —その生活史—. しぜんしくらしき, (6): 6-7.
- 林 浩二 (1984) 一年生浮葉植物の生活. 遺伝, **38**(4): 6-11.
- 林 紀男 (2013) 印旛沼 (千葉県) における沈水植物の系統維持. 水草研究会誌, (100): 72-76.
- 林 紀男 (2013) 印旛沼・手賀沼, 沈水植物の多様性回復. 生物多様性ちばニュースレター, (33): 1-2.
- 氷見市教育委員会 (1989) 十二町潟オニバス発生地調査報告書. 20pp. + 4pls. 氷見市教育委員会, 氷見.
- 兵庫・水辺ネットワーク (2000) オニバス文献集. I-VI + 227pp. 明石市環境部環境政策課, 明石.
- 本多郁夫 (2000) 石川県金沢市北間町のオニバス. 水草研究会会報, (71): 表紙.
- 本多郁夫 (2014) オニバス～驚異の謎の植物 石川県に自生地誕生. 「植物生態観察図鑑 —おどろき編—」: 106-127. 全国農村教育協会, 東京.
- 本多郁夫 (2019) 石川県産オニバスの今昔. 植物地理・分類研究, **67**: 29-40.
- 堀 与治 (1994) オニバス回生記. 氷見春秋, (30): 39-41.
- 市川正人 (2015) 桑名市でコウガイモを再確認. 自然誌だより (三重自然誌の会情報誌), (103): 4.
- 井出義信 (2019) 私の植物観察 (4). 佐賀の植物, (55): 33-38.
- 池本茂豊・難波靖司 (2019) 岡山県自然保護センターの田尻大池・上池における生物相. 岡山県自然保護センター研究報告, (26): 1-16.
- 生嶋 功 (1974) 「千葉県指定天然記念物萩原のオニバス発生地におけるオニバス保護増殖事業報告書」. 12pp. 千葉県教育委員会, 千葉.
- 生嶋 功 (1975) 「千葉県指定天然記念物萩原のオニバス発生地におけるオニバス保護増殖事業報告書」. 10pp. 千葉県教育委員会, 千葉.
- 生嶋 功 (1976) 「千葉県指定天然記念物萩原のオニバス発生地におけるオニバス保護増殖事業報告書 (III)」. 9pp. + 写真 1, 2. 千葉県教育委員会, 千葉.
- 生嶋 功 (1977) 「千葉県指定天然記念物萩原のオニバス発生地におけるオニバス保護増殖事業報告書 (IV)」. 14pp. 千葉県教育委員会, 千葉.
- Imanishi, A., Kaneko, S., Isagi, Y., Imanishi, J., Natsuhara, Y. and Morimoto, Y. (2015) Genetic diversity and structure of *Euryale ferox* Salisb. (Nymphaeaceae). *Acta Phytotax. Geobot.*, **66**: 1-9.
- 井上英幸 (2014) 佐賀の植物地理分布. 佐賀の植物, (50): 38-49.
- 石橋秀夫・横川昌史 (2021) オニバスを発見. *Nature Study*, **67**(6): 8.
- 石原 暁・川波誉大・白井康子・小山 健・笹田康子 (1998) ため池の富栄養化とオニバスの生育 — (1) ため池水質の季節変化. 香川県環境研究センター所報, (23): 41-50.
- 石原 暁・小山 健・笹田康子・白井康子・安藤友継 (1999) ため池の富栄養化とオニバスの生育 — (2) ため池の水質と浮葉植物の生育観察—. 香川県環境研究センター所報, (24): 29-41.
- 石原 暁・白井康子・笹田康子 (2000) ため池の富栄養化とオニバスの生育 (第4報) —ため池底泥の富栄養化の実態—. 香川県環境研究センター所報, (25): 45-49.
- 石崎英男・横川昌史 (2021) 松原市高見の里のため池でオニバスを確認. *Nature Study*, **67**:

76.
磯部亮一 (1985) 渥美半島芦ヶ池のオニバス. 水草研究会会報, (22): 9-11.
- 磯部亮一 (1987) 岐阜県海津地方のオニバス群落. 水草研究会会報, (30): 6-8.
- 磯部亮一 (1988) 岐阜県笠松町にオニバス. 水草研究会会報, (31): 10.
- 磯部亮一 (1989) 岐阜県におけるオニバスの盛衰近況. 水草研究会会報, (35): 12-13.
- Ito, M. (1984) Studies in the floral morphology and anatomy of the Nymphaeales. II. Floral anatomy of *Nymphaea tetragona* George. *Acta Phytotax. Geobot.*, **35**: 94-102.
- 祝原道衛 (1966) オニバス. 筑豊生物研究会会誌, **11**: 表紙-表紙裏.
- 祝原道衛 (1982) オニバス. 筑豊博物, (27): 21-25.
- 岩村政浩 (2000) 佐賀県産水草目録. 水草研究会会報, (71): 1-9.
- 角野康郎 (1981) アオコの発生とオニバスの衰退. 水草研究会会報, (5): 16-17.
- 角野康郎 (1983) 冬を越さずに発芽したオニバスの種子. 水草研究会会報, (12): 5-6.
- 角野康郎 (1983) オニバスの自然誌. *Nature Study*, **29**: 63-66.
- 角野康郎 (1984) オニバスの子房は何室?. 水草研究会会報, (15): 12.
- 角野康郎 (1984) 兵庫県播磨地方のオニバス群落. 水草研究会会報, (17): 25-27.
- 角野康郎 (1984) オニバスの結実について 一訂正とお詫び一. 水草研究会会報, (18): 16-17.
- 角野康郎 (1985) 消えゆく巨大水草オニバス. 趣味の山野草, **62**(1985.5): 34-37. (兵庫水辺ネットワーク, 2000 オニバス文献集より)
- 角野康郎 (1991) 日本の絶滅危惧種 オニバス. 遺伝, **45**(8): 75.
- 角野康郎 (1991) 日本の絶滅危惧植物 2 オニバス. 小原流「插花」, (483): 80.
- 角野康郎 (1993) 兵庫県明石市大久保の大池のオニバス. 水草研究会会報, (51): 表紙.
- 角野康郎 (1994) 日本におけるオニバスの既知産地. 水草研究会会報, (53): 15-19.
- 角野康郎 (1994) 「日本水草図鑑」. 179pp. 文一総合出版, 東京.
- 角野康郎 (1995) 兵庫県明石市のオニバス. 水草研究会会報, (56): 表紙.
- 角野康郎 (1997) 兵庫県産水草目録(新). 水草研究会会報, (60): 14-20.
- 角野康郎 (1998) ため池の植物群落—その成り立ちと保全. 江崎保男・田中哲夫 編 「水辺環境の保全—生物群集の視点から—」: 1-16. 朝倉書店, 東京.
- 角野康郎 (1998) 和合成池オニバス埋土種子調査報告. 水辺(兵庫・水辺ネットワークニュースレター), (10): 4-6. (兵庫・水辺ネットワーク, 2000 オニバス文献集より)
- 角野康郎 (1999) 日本の水草の現状とその保全をめぐる課題. 鷺谷いづみ・飯島 博(編)「よみがえれアサザ咲く水辺 ~霞ヶ浦からの挑戦~」: 33-69. 文一総合出版, 東京.
- 角野康郎 (2000) 暮らしの自然誌 オニバス. エコソフィア, (6): 88.
- 角野康郎 (2003) オニバスに関する文献目録(改訂版). 水草研究会誌, (79): 7-12.
- 角野康郎 (2007) 国際オニバスサミットの開催. 水草研究会会報, (88): 34.
- 角野康郎 (2014) 「ネイチャーガイド 日本の水草」, 326pp. 文一総合出版, 東京.
- 角野康郎 (2019) ため池が直面する「5つの危機」. ため池の自然, (60): 12-13.
- Kadono, Y. and Schneider, E.L. (1987) The life history of *Euryale ferox* Salisb. in Southwestern Japan with special reference to reproductive ecology. *Plant Species Biology*, **2**: 109-115.
- 角野康郎・遊磨正秀 (1995) 「エコロジーガイド ウェットランドの自然」. 198pp. 保育社, 大阪.
- 香川県生活環境部環境局自然保護室 (1998) 「希少野生動植物保護対策事業 オニバス生育状況調査報告書」. 113pp. 香川県, 高松.
- 上赤博文 (1996) 1995年と1996年に佐賀平野で発生したオニバスについて. 水草研究会会報, (59): 5-9.

- 上赤博文 (2013) 佐賀平野の水草 2012 年のトピックス. 佐賀自然史研究, (18): 11-14.
- 上赤博文 (2014) 2014 年水草トピックス. 佐賀の植物, (50): 2-8.
- 上赤博文 (2018) 佐賀平野のオニバス (スイレン科オニバス属) 2018 年の発生状況について. 佐賀の植物, (54): 26-30.
- 上田常一 (1961) 松江市堀川の生物. 山陰文化研究所紀要, (1): 1-25.
- 狩山俊悟 (1993) オニバスの生える池. しぜんしくらしき, (4): 1.
- 莉部治紀・永井 晃 (1982) オニバスに出会う. 植物と自然, 16(12): 28.
- 片山 久 (1994) オニバスの開花周期. しぜんしくらしき, (11): 6.
- 加藤嶽一 (1988) 蜘蛛池のオニバス. 大潟町史編さん委員会 (編)「大潟町史 自然編 歴史編」: 115-116. 大潟町, 大潟.
- 川原田林 (1987) 地中の眠りからさめたオニバスの発芽—牛久沼にオニバス再生—. レポート日本の植物, (34): 129, 130-131.
- 川内一憲・藤井 豊 (2013) 福井県におけるオニバス生育地の可能性に関する一考察 —42 年ぶりに石川県で発見されたオニバスから—. 福井陸水生物会報, (20): 33-39.
- 北野一夫 (2013) 和歌山県のため池における水草調査 (2010.5 ~ 2012.10). くろしお, (32): 5-7.
- 小林 智・小林 温 (2013) 今川でオニバスを発見. *Nature Study*, 59: 124.
- 河毛周男 (1975) オニバス備後に現存する. 植物採集ニュース, (78): 63-64.
- 小菅崇之 (2016) 名古屋城のオニバス調査. 「平成 27 年度 なごや生物多様性保全活動協議会 活動報告書」: 11-12. なごや生物多様性保全活動協議会, 名古屋.
- 小菅崇之・中村 肇 (2014) オニバス保全. 「平成 25 年度 環境省生物多様性保全推進支援事業 都市部における生物多様性の保全と外来生物対策事業報告書」: 45-46. なごや生物多様性保全活動協議会, 名古屋.
- 熊谷信孝 (1984) オニバスの生態と保護. 生物福岡, (24): 1-5.
- 熊木義房 (1971) オニバスの発芽について. 日本農業教育学会誌, 4: 30-31.
- Kumaki, Y. and Minami, Y. (1973) Seed germination of "Onibusu" *Euryale ferox* Salisb. (II). *Bulletin of the Faculty of Education, Kanazawa University. Natural Science*, 22: 71-78.
- 熊本県高校生物教育研究会 (1960) オニバスの葉 (裏面). 熊本生物, (1): 写真.
- 久米 修 (1985) 香川県におけるオニバスの分布. 水草研究会会報, (21): 9-12.
- 久米 修 (1987) 香川県におけるオニバスの生育状況 1. 水草研究会会報, (27): 16-19.
- 久米 修 (1988) 簡易容器を使用したオニバス発芽観察. 水草研究会会報, (32): 5.
- 久米 修 (1988) 香川県におけるオニバスをとりまく水生植物相. 水草研究会会報, (33-34): 34-39.
- 久米 修 (1992) 香川県におけるオニバスの生育状況 2. 水草研究会会報, (46): 23-28.
- 久米 修 (1995) 簡易容器を使用したオニバスの発芽観察 2. 水草研究会会報, (57): 18-19.
- 久米 修 (1996) 香川県におけるオニバスの生育状況 3. 水草研究会会報, (59): 10-14.
- 久米 修 (1997) 小型容器を使用したオニバスの栽培. 香川生物, (24): 1-4.
- 久米 修 (2002) 香川県におけるオニバスの生育状況 4. 水草研究会会報, (76): 30-34.
- 久米 修 (2005) 天然記念物の指定がオニバスを減ぼす?. 水草研究会誌, (83): 19-21.
- 久米 修 (2006) 香川県におけるオニバスの生育状況 5. 水草研究会誌, (85): 12-15.
- 久米 修 (2012) 香川県におけるオニバスの生育状況 6. 水草研究会誌, (97): 24-28.
- 久米 修 (2016) 香川県におけるオニバスの生育状況 7. 水草研究会誌, (104): 19-23.
- 久米 修 (2017) 香川県のオニバス生育地における水生植物相の変化. 水草研究会誌, (105): 29-32.
- 久米 修・和気俊郎 (1997) 休耕田でオニバスが生育. 水草研究会会報, (62): 28.
- 桑原友春・中畑勝見 (2021) 汽水環境下における

- オニバスの発芽個体の栽培試験, 「2020年度ホシザキグリーン財団環境修復プロジェクト報告書」: 49-52. 公益財団法人ホシザキグリーン財団環境修復プロジェクト, 出雲.
- 桑原友春・中畑勝見 (2021) 宍道湖自然館の汽水ビオトープ池に移植したオニバスについて, 「2020年度ホシザキグリーン財団環境修復プロジェクト報告書」: 53-59. 公益財団法人ホシザキグリーン財団環境修復プロジェクト, 出雲.
- 前田 修・中道 徹・高橋義三郎 (1983) 宍塚大池のオニバス, 筑波の環境研究, 7: 80-85. (兵庫・水辺ネットワーク, 2000 オニバス文献集より)
- 前川文夫 (1944) はすとおにばすノ利用, 植物研究雑誌, 20: 62-63.
- 牧野富太郎 (1891) 繇條書屋植物雑記 (其一), 植物学雑誌, 5: (336)-(338).
- 牧野富太郎 (1909) おにばすハ浮沈ノ兩葉ヲ有ス, 植物学雑誌, 23: (79).
- 牧野富太郎 (1932) 明治二十四年東京上野忍池ニ偶然ニ生ジテ花サキシおにばす (原ト彩色) ノ圖, 植物研究雑誌, 8(6): 口絵.
- 丸谷佳代・三橋弘宗・角野康郎 (2017) 兵庫県産水生植物の分布データベース: 概要と課題, 水草研究会誌, (105): 1-8.
- 的場富士彦 (1925) 「鬼蓮」, 18pp. + 4pls.
- 的場富士彦 (1938) 「天然記念物 鬼蓮研究」, 152pp.
- 松平康邦 (1981) オニバスと 25 年ぶりの出あい, レポート日本の植物, (11): 104-105.
- 松井宏明 (1984) オニバス種子の沈降の観察, 水草研究会会報, (18): 15.
- 松本修二 (2002) 50 年ぶりのオニバス, 水草研究会会報, (76): 35-39.
- 松岡成久 (2013) しだいに明らかとなってきた兵庫県の湿性・水生植物, 橋本光政, 「兵庫県花の歴史探訪」: 258-264, 自費出版.
- 松沢篤郎 (1984) 群馬県館林市, 多々良沼及び周辺の植物, レポート日本の植物, (20): 190-191.
- 三木 茂 (1937) オニバス属, 「山城水草誌 (京都府史蹟名勝天然記念物調査報告)」, 第十八冊別刷: 87-89. 京都府, 京都.
- 三木 茂 (1960) 本邦に於けるオニバス (*Euryale*) 遺体の分布, 北陸の植物, 8: 53-57.
- Miki, S. (1960) Nymphaeaceae remains in Japan, with new fossil genus *Eoeuryale*. *Journal of the Institute of Polytechnics Osaka City University, Series D (Biology)*, 11: 63-78 + pls.1-5.
- 三木 茂 (1962) 瀬戸市赤津の化石沼から得た新属の水草とその類縁関係, 植物分類・地理, 20: 139-144.
- 嶺田拓也・日鷹一雅 (2002) 水生植物相による香川県仲多度地方のため池群の類型化, 水草研究会会報, (74): 35-44.
- 三浦憲人 (2014) アメリカザリガニによるオニバスへの影響に関する観察, ホシザキグリーン財団研究報告, (17): 335-337.
- 宮下佳子 (1983) 新潟県佐潟のオニバス, 水草研究会会報, (11): 4-6.
- 三好 學 (1926) おにばす 鬼蓮, 「天然紀年物解説」: 316-318 + 第43圖版, 富山房, 東京.
- 水草研究グループ (1993) オニバスの分布, 倉敷市立自然史博物館友の会ニュース, (20): 7.
- 水の駅 ビュー福島潟 (2008) 「国際オニバスサミット報告書」, 38 + 25pp. 水の駅 ビュー福島潟, 新潟.
- 村井俊郎 (2004) オニバス 再発見の経緯, 自然誌だより (三重自然誌の会情報誌), (62): 6.
- 永木利夫・原田尋美 (1999) 系統進化園水槽でのオニバスの栽培について, 広島市植物公園栽培記録, (20): 4.
- なごや生物多様性保全活動協議会 (2017) 名古屋城におけるオニバスをはじめとした植物相調査, 「平成 28 年度 なごや生物多様性保全活動協議会 活動報告書」: 14. なごや生物多様性保全活動協議会, 名古屋.
- 中村 肇 (2013) オニバスが確認された意義, 生きものシンフォニー, (6).
- 中村 肇 (2013) オニバスは今, 生きものシンフォニー, (7).
- 中村 肇 (2013) オニバスは今 2, 生きものシンフォニー, (8).

- 中村 肇 (2014) オニバスは今 3. 生きものシンフォニー, (9).
- 中村 肇 (2014) 名古屋城外堀に生育するオニバスの記録 (2013). *ため池の自然*, (55): 16-19.
- 中村 肇 (2014) 名古屋市中で生育が再確認されたオニバスの記録. *なごやの生物多様性*, 1: 33-48.
- 中村 肇 (2015) 訂正: 名古屋市中で生育が再確認されたオニバスの記録. *なごやの生物多様性*, 2: 65.
- 中村 肇 (2015) なごや生物多様性センター収蔵植物標本目録 (1). *なごやの生物多様性*, 2: 67-98.
- 中村 肇 (2015) 名古屋城外堀におけるオニバス調査. 「平成 26 年度 なごや生物多様性保全活動協議会 活動報告書」: 40-41. なごや生物多様性保全活動協議会, 名古屋.
- 中村 肇 (2020) 名古屋城外堀のオニバス. *なごやの生物多様性*, 7: 63-64.
- 中村浩司 (2018) 特設展示「水辺に生きる草」がオープンしました. *Sea Life News*, (81).
- 中村浩司 (2019) 水辺の自然 昔と今「水辺の自然」エリアの 30 年をふりかえる. *どうぶつと動物園*, (716): 16-20.
- 中西 正 (1988) 愛知県芦ヶ池のオニバス. *虫譜*, 26(2): 8-10.
- 中西 正 (1992) 芦ヶ池 (愛知県田原町) のオニバスの動態. *ため池の自然*, (15): 10-12.
- 中西 正 (2021) 幻の芦ヶ池とオニバス. 三河生物同好会 (編) 「続・三河の自然誌」: 13-14. 三河生物同好会, 豊橋.
- 中下雅子 (2001) 万蔵堀の自然とオニバスの生育記録. *Botany*, (51): 137-141.
- 中山 包 (1973) 水生植物種子の発芽. 「発芽生理学」: 310-320. 内田老鶴園新社, 東京.
- 柘屋純男・常藤 馨 (1993) 倉敷市玉島柏島でカワセミとオニバスを観察. *しぜんしくらしき*, (3): 12.
- 新潟県豊栄市・福島潟のオニバスを保護育成する会 (1994) 「新潟県豊栄市福島潟オニバス保護増殖事業 調査報告書」. 28pp. 新潟県豊栄市・福島潟のオニバスを保護育成する会, 豊栄.
- 西村伸郎 (1987) 大阪府摂津市におけるオニバスの生育報告. *日本の生物*, 1(10): 28.
- 野村次雄 (1968) 消えた東京都葛飾区小合溜のオニバス. *植物採集ニュース*, (39): 25.
- 小島裕子 (1993) オニバスについて. *倉敷市立自然史博物館友の会ニュース*, (20): 8.
- Okada, H. and Tamura, M. (1981) Karyomorphological study on the Nymphaeales. *J.Jpn.Bot.*, 56: 367-375.
- Okada, Y. (1925) On the germination of *Euryale ferox*, Salisb. *Bot. Mag. (Tokyo)*, 39: 133-141.
- 岡田要之助 (1926) おにばす分布ノ北限ニ就イテ. *植物學雑誌*, 40: 423-424.
- 岡田要之助 (1926) おにばすノ根莖. *植物研究雑誌*, 3: (257)-(260).
- Okada, Y. (1928) Study of *Euryale ferox* Salisb. I. On the size of leaves, fruits, etc., with some remarks on the mode of expansion of the leaf blade. *The Science Reports of the Tôhoku Imperial University 4th series (Biology)*, 3: 271-278, pls. III, IV.
- Okada, Y. (1928) Study of *Euryale ferox* Salisb. II. On the variation in the shape of the seed. *The Science Reports of the Tôhoku Imperial University 4th series (Biology)*, 3: 581-586, pl. XXV.
- Okada, Y. (1929) Study of *Euryale ferox* Salisb. III. On the form and structure of juvenile leaves. *The Science Reports of the Tôhoku Imperial University 4th series (Biology)*, 4: 117-126, pls. X, XI.
- Okada, Y. (1929) Study of *Euryale ferox* Salisb. IV. On the rate of growth of the lamina. *The Science Reports of the Tôhoku Imperial University 4th series (Biology)*, 4: 361-368, pls. XIII, XIV.
- 岡田要之助 (1929) おにばすノ葉. *植物研究雑誌*, 6: (6)-(9).
- Okada, Y. (1930) Study of *Euryale ferox* Salisb. V. On some features in the physiology of the seed with special respect to the problem of the delayed germination. *The Science Reports of the*

- Tôhoku Imperial University 4th series (Biology)*,
5: 41-116, pl. V.
- Okada, Y. (1931) Study of *Euryale ferox* Salisb. VII. Change of catalase and germination percent during the after-ripening of the seeds. *The Science Reports of the Tôhoku Imperial University 4th series (Biology)*, 6: 429-436.
- Okada, Y. (1935) Study of *Euryale ferox* Salisb. VIII. Miscellany. *The Science Reports of the Tôhoku Imperial University 4th series (Biology)*, 9: 455-459, pl. XII.
- 岡田要之助 (1935) オニバス種子の“氣永き發芽”に就て. 生態學研究, 1: 14-22, 131-139, 225-234. (兵庫・水辺ネットワーク, 2000 オニバス文献集より)
- 岡田要之助 (1935) 本邦に於けるオニバス分布に就て. 生態學研究, 1: 156-158. (兵庫・水辺ネットワーク, 2000 オニバス文献集より)
- 岡田要之助 (1937) おにばす種子ノカタラーゼノ性質ニ就イテ. 植物學雜誌, 51: 324-332.
- 岡田要之助 (1938) オニバスの開展花に就いて. 生態學研究, 4: 159-163. (兵庫・水辺ネットワーク, 2000 オニバス文献集より)
- Okada, Y. and Otaya, T. (1930) Study of *Euryale ferox* Salisb. VI. Cleistogamous versus chasmogamous flowers. *Bot. Mag. (Tokyo)*, 44: 369-373.
- 岡島一允 (1995) 豊中にオニバスが生育する. 近畿植物同好会会報, (64): 13.
- 岡島一允 (1999) オオオニバスとオニバスの供宴. 水草研究会会報, (68): 23-24.
- 岡島一允 (2008) 原井谷池(大阪府堺市)におけるオニバスの種子数について. 水草研究会誌, (90): 40-41.
- 岡島一允 (2011) 世界一の水草「オオオニバス」を食べよう. 水草研究会誌, (96): 35-36.
- 岡島一允 (2014) 2013年夏風景 ヒシの撤去作業. *Nature Study*, (60): 93.
- 岡島一允 (2014) 茨木市竹ヶ池のオニバス. 近畿植物同好会会報, (118): 26-27.
- 岡島一允 (2016) 茨木市竹ヶ池のオニバス 続報. 近畿植物同好会会誌, (39): 25-26.
- 奥島雄一・江田伸司 (1993) オニバスを発見しました. しぜんしくらしき, (4): 7.
- 小野 一 (1993) 明石市およびその周辺に自生するオニバスの現状. 兵庫の植物, (3): 35-38. (兵庫・水辺ネットワーク, 2000 オニバス文献集より)
- 大滝末男 (1974) 「水草の観察と研究」. 137pp. ニュー・サイエンス社, 東京.
- 大滝末男 (1974) 日本におけるオニバスの分布. 植物研究雑誌, 49: 168-172.
- 大滝末男 (1974) オニバスについて. 「花材別 いけばな芸術全集 9 蓮・睡蓮・河骨」: 94-97. 主婦の友社, 東京.
- 大滝末男 (1975) オニバス東京都にも現存する. 植物と自然, 9(8-9): 18.
- 大滝末男 (1976) オニバスの生育地日本一. 植物採集ニュース, (84): 16.
- 大滝末男 (1977) 水草の冬越. 植物と自然, 11(13): 1-2, 15-20.
- 大滝末男 (1977) 東京都のオニバスは健在. 植物採集ニュース, (94): 122.
- 大滝末男 (1978) オニバス. 植物と自然, 12(8): 12.
- 大滝末男 (1978) 東京都のオニバスは健在. 千葉生物誌, 27: 27-29.
- 大滝末男 (1981) 水草の冬越し. 植物と自然, 15(2): 14-19.
- 大滝末男 (1982) 太古の謎をひめて花開くオニバス. アニマ, (115): 54-60.
- 大滝末男 (1987) 日本産オニバスの総説. 日本の生物, 1(4): 48-55.
- 大滝末男 (1988) 千葉県市川市ジュンサイ池のオニバスの花. 水草研究会会報, (33-34): 表紙.
- 大滝末男・石戸 忠 (1980) オニバス. 「日本水生植物図鑑」: 98-99, 281. 北隆館, 東京.
- 長田 潔 (1972) オニバスの葉の成長と結実について. 千葉生物誌, 21: 63-65.
- 尾崎富衛 (編) (1974) 「福島潟・瓢湖 自然環境総合調査報告書(総集編)」201pp. 豊栄市・水原町.
- 尾崎富衛 (1982) オニバス. NKH(長岡市立科学博物館報), (41): 3.

- 尾崎富衛 (1982) 佐潟の植物. 「佐潟の自然 — オニバスの保護を中心として— 新潟市文化財調査報告書」: 12-42. 新潟市教育委員会, 新潟.
- 尾崎富衛 (1988) 佐潟のオニバス群落. 「新潟のすぐれた自然 新潟県自然環境保全資料策定調査書 植物編」: 460-463. 新潟県生活環境部自然保護課, 新潟.
- 尾崎富衛・石田文明・清水重蔵 (1995) 新潟県豊栄市福島潟におけるオニバスの栽培. 水草研究会会報, (55): 1-8.
- Rudyka, E.G. (1990) Chromosome numbers of vascular plants from the various regions of The USSR, *Botanicheskii Zhurnal*, **75**: 1783-1786.
- 埼玉県立自然の博物館 (2019) オニバス. 「埼玉の自然誌 ~埼玉の自然を知る・学ぶ~ 埼玉県立自然の博物館展示解説書」: 69. 埼玉県立自然の博物館, 長瀬.
- 斎藤正治 (1973) 野草趣味五十年 (その五) — 福島潟のオニバス—. 蒲原, (34): 44-49.
- 斎藤吉永 (1967) オニバス消滅の原因. 植物採集ニュース, (31): 51-52.
- 斎藤吉永 (1989) オニバスの葉を食べるオンブバッタ. 水草研究会会報, (37): 10.
- 桜井善雄 (1981) 霞ヶ浦の水生植物のフロラ, 植被面積および現存量 — 特に近年における湖の富栄養化に伴う変化について—. 国立公害研究所研究報告, (22): 229-279.
- 笹川通博 (1988) オニバス (スイレン科). 新潟県植物分布図集, **9**: 131-132.
- 笹原 治 (1996) 新潟市松浜の池のオニバス. 新潟県植物分布図集, **17**: 24.
- 笹原 治 (2000) 新潟県松浜の池に生育するオニバス. 水草研究会会報, (70): 15-16.
- 志賀 隆・石澤 進 (2002) 新潟県頸城湖沼群の水生・湿性植物相. 水草研究会会報, (74): 1-22.
- 嶋田直哉 (1991) 岐阜県南濃町におけるオニバスの現況. 水草研究会会報, (44): 25-26.
- 島田彌市 (1958) オニバス自生地の観察. *Botany*, (8): 12-14.
- 清水善吉 (2016) なばなの里のオニバス. 自然誌 だより (三重自然誌の会情報誌), (109): 8.
- 眞保一輔 (1934) 北蒲原郡, 福島潟鬼蓮群落及び浮島. 新潟県. 「新潟県史蹟名勝天然記念物調査報告 第四輯」: 77-81.
- 進野久五郎 (1967) 滅びゆくオニバス (鬼蓮). 植物と自然, **1**(3): 18-20.
- 白井康子・石原 暁 (2000) ため池の富栄養化とオニバスの生育 (第3報) — オニバス種子の発芽についての考察—. 香川県環境研究センター所報, (25): 38-44.
- 曾我部共生・浦部美佐子・渡邊輝世 (2014) ミシシippアカミミガメが彦根城中堀に自生するオニバス群落に与える影響の検証. 地域自然史と保全, **36**: 95-108.
- 末広喜代一・佐藤真弓・真部礼子 (2001) 香川県におけるオニバスの生育環境. 香川生物, (28): 29-35.
- 鈴木朝夫 (1973) 印旛沼周辺のオニバスについて. 千葉生物誌, **22**: 35-36.
- 鈴木普二 (1957) 北総自生のオニバス. 採集と飼育, **19**: 130-132.
- 鈴木俊夫 (1966) オニバスの一生. 蒲原, (4): 58-59.
- 高木政喜・本多郁夫 (2012) 能登半島で発見されたオニバスの意義. 石川県立自然史資料館研究報告, (2): 57-58.
- 武井 尚 (1948) オニバスの種子の散布について. 野草, **14**(11): 2.
- ため池の自然談話会 (編) (1994) 「身近な水辺 ため池の自然学入門」. 167pp. 合同出版, 東京.
- 田中法生 (2016) 水草博士の水草ゼミ Vol.30 水草の花 その7 変わった送粉. *AQUA LIFE*, (2016-6): 94-95.
- 田中法生 (2017) 水草博士の水草ゼミ Vol.37 水草の移動 種子による移動. *AQUA LIFE*, (2017-3): 56-57.
- 田中法生 (2017) 水草博士の水草ゼミ Vol.39 ミャンマーの水草 インドージー湖. *AQUA LIFE*, (2017-4): 88-90.
- 田中誠一 (1972) 「十二町潟のオニバス」. 32pp. 水見市教育委員会, 水見.

- 田中 晋・稲村 修・中川定一・西田 弘・氷見 市立十二町小学校・坂本研資 (2000) 「十二町潟周辺と天然記念物 ―オニバスとイタセンパラ―」, 22pp. 観光ボランティアグループつままの会, 氷見.
- 寺田仁志・大屋 哲 (2009) オニバス自生地裸島池の植生. *カゴシマネイチャー*, **35**: 33-42.
- 寺本匡寛・小菅崇之 (2017) 名古屋城におけるオニバスをはじめとした植物相調査. 「平成 28 年度 なごや生物多様性保全活動協議会 活動報告書 資料編 水辺の生きもの部会」: 36-42. なごや生物多様性保全活動協議会, 名古屋.
- 寺本匡寛・小菅崇之 (2018) 名古屋城におけるオニバスをはじめとした植物相調査. 「平成 29 年度 なごや生物多様性保全活動協議会 活動報告書 資料編 水辺の生きもの部会」: 77-85. なごや生物多様性保全活動協議会, 名古屋.
- 戸田英雄 (1988) 掛川市高御所のオニバス. *遠州の自然*, (11): 38-39.
- 豊栄市史調査会 (1998) オニバス. 「豊栄市史通史編」: 18-21. 豊栄市, 豊栄.
- 豊栄市史調査会民俗部会 (1999) ドンバス (オニバス). 「豊栄市史 民俗編」: 428, 442, 483. 豊栄市, 豊栄.
- 上原浩一・川野優子・野木聡子・西野栄正 (2000) スイレン科植物の LEAFY 相同遺伝子の分子系統学的研究. *千葉大学園芸学報*, (54): 13-18.
- 梅津幸雄 (1986) 大分県北部におけるため池の水生植物群落. *水草研究会会報*, (24): 2-5.
- 碓井信久 (1985) オニバスはどこへ行く. 「神戸の水生植物 (神戸の自然シリーズ 14)」. 神戸市立教育研究所, 神戸. (デジタル化神戸の自然シリーズ 14 神戸の水生植物 / <http://www2.kobe-c.ed.jp/shizen/wtplant/wtplant/14009.html>).
- 碓井信久 (1999) オニバスの植栽の試み―明石市オニバス保全事業の一環として. *水辺 (兵庫・水辺ネットワークニュースレター)*, (17): 9-10. (兵庫・水辺ネットワーク, 2000 オニバス文献集より)
- 脇田晴美 (1959) 名古屋市及び尾張東北部における水生植物の調査並にオニバスの生態学的考察. 「中部日本自然科学調査団報告第 3 報 名古屋・尾張東北部の自然」: 5-7. (兵庫・水辺ネットワーク, 2000 オニバス文献集より)
- Wei, P.-H., Chen, W.-P. and Chen, R.-Y. (1994) Study on the karyotype analysis of Nymphaeaceae and its taxonomic position, *Acta Phytotax. Sinica*, **32**: 293-300.
- 藪内喜人 (2021) 岡山県中西部の水草の分布 II, ジュンサイ科 Cabombaceae とスイレン科 Nymphaeaceae. *しぜんしくらしき*, (114): 7-11.
- 山口 聡 (1984) オニバス―福岡県下の新産地. *レポート日本の植物*, (20): 185.
- 山崎美津夫 (2015) 水草小話 第 164 回 人類を飢餓から救うもの. *Aqua Journal*, **232**: 50.
- 山崎史織・林 浩二 (2003) 千葉県本埜村におけるオニバス消失の原因について. *水草研究会誌*, (77): 1-10.
- 山崎史織・林 浩二 (2004) オニバスの生育における除草剤の影響. *水草研究会誌*, (80): 1-5.
- 山崎史織・林 浩二 (2005) オニバスのオゾン障害. *水草研究会誌*, (82): 16-22.
- 米田 厚 (2005) 中池の整備におけるオニバスの再生. *農業土木学会誌*, **73**(12): 55-56.
- 吉田喜久子 (2001) オニバスの栽培を試みる. *Botany*, (51): 125-132.

【上記文献内において引用されている文献,

原著または複写物にて

内容を確認できていない文献】

- 土永知子 (1988) 平城京跡のオニバス. *奈良植物研究会会報* (36): 13-14.
- 藤井伸二 (2000) 大阪市今川のオニバス群落. *がしゃもく通信*, (2): 11-14.
- 林 紀男・齋藤大輔 (2010) 印旛沼 (千葉県) の埋土種子からオニバス発芽. *千葉生物誌*, **60** (2): 32-35.
- 市円 忠 (1996) 溜池植物の最後を飾るオニバスの花 (山王池の埋立). *佐賀の植物*, (32): 20

- 21.
- 市村 塘・安田作二郎 (1926) 「石川県史蹟名勝天然記念物調査報告 (2)」, 17-21, pls.14-16.
- 今井 了ほか (1985) オニバスの小苗代池. 頸北頸城中部地区理科教育センター・上越地区理科教育センター研究協議会報, 94pp.
- 神代植物公園園芸係 (1986) 植物公園ニュース オニバス, 植物春秋, **25**(9):5.
- 鹿児島県川内市教育委員会 (1970) オニバス自生地. 川内市文化財資料集.
- 上赤博文 (1996) 絶滅危機にある植物オニバスとサンショウモの新産地について, 佐賀の植物, (32):28-30.
- 上赤博文 (1997) 佐賀平野のオニバス 1997, 佐賀の植物, (33):21-24.
- 狩野裕章・石澤 進 (2002) 福島潟の植物相と植生 (2002) 76pp. 福島潟環境保全対策推進協議会, 豊栄.
- 笠井みつ・園原悦子・林 紀男 (2013) 印旛沼 (千葉県) 産のオニバス発芽. 千葉生物誌, **63**(1):10-12.
- 春日清一 (1997) 霞ヶ浦—その現状と課題—, オニバスは何故消えたのか. 筑波の友, (136):6-8.
- 加瀬林成夫・須能正美・中野勇・橋谷尚志 (1959) 霞ヶ浦における水位低下が水産生物に及ぼす影響の基礎的研究 第1報 (概報), 1-35. 茨城県.
- 河口 格 (1982) 佐賀城壕のオニバス. 佐賀の植物, (18):13.
- 久米 修・納田美也・和気俊郎・大石泰輔 (1987) 新川水系のため池における水生植物相. 香川県自然環境保全指標策定調査研究報告書 (新川水系ため池), 16-42.
- 郡場 寛 (1929) 科學畫報, **12**(12).
- Langlet, O.F.I. and Soderberg, E. (1927) Uber die chromosomenzahlen einiger Nymphaeaceae. *Acta Horti Bergiani*, **9**(4):85-104.
- Langlet, O.F.I. (1936) Nagra bidrag till kannedomen om kromosomtalen inom nymphaeaceae, Ranunculaceae, Polemontaceae och Compositae. *Svensk Botanisk Tidskrift*, **30**(3):288-294.
- 前田 修・原 慶明・大悟法 滋 (1976) 筑波大学周辺の池沼の現況. 筑波の環境研究, **2**.
- 牧野晩成 (1978) 植物雑記 (74) 256 オニバスとハスの果実と種子. 野草, **45**(363):20-21.
- 的場富士彦 (1927) 史蹟名勝天然記念物, **2**(2).
- 松本雅道 (1987) 大東町田ヶ池のオニバス. 静岡植物研究会誌, (1):44-45.
- 松村任三 (1903) 鬼蓮に就て. 少年 (時事新報社), (1).
- 三木 茂 (1927) 巨椋池の植物生態. 京都府史蹟名勝地調査會報告 第八冊. 106-107.
- 三木 茂 (1936) 明石舊象化石含有層内の植物化石. 地球, **26**(3):173.
- 水田光雄 (1993) 伊丹・宝塚でオニバス発見. 兵庫県植物誌研究会会報, (14):1.
- 森本信生 (1992) 消える里山の自然. 筑波の友, (74):14-15.
- 本埜村教育委員会 (1989) 「千葉県指定天然記念物将藍のオニバス発生地におけるオニバス保護増殖事業報告書」. 本埜村教育委員会, 本埜.
- 永吉照人 (1997) 植物たちの危機 6 オニバス. 趣味の山野草, **18**(7):26-27.
- 新潟県立植物園 (2005) 新潟の自然 13 オニバス. 新潟県立植物園植物だより, (26).
- 小島裕子 (1977) オニバスの保護. 岡山の自然, (6):1.
- 小田龍聖・三浦敏弘・小田慶喜 (2012) 身体運動文化における自然活動の教材研究: 環境教育導入としてのオニバス調査. 身体運動文化論攷, **11**:111-128.
- 岡田要之助 (1926) 富山懸史蹟名勝天然紀年物調査会報告. **1**(8):35-36.
- 岡島一允 (1996) 堺市内でオニバスを観る. 堺植物, (36):9-10.
- 岡島一允 (2016) オニバスを食する. 京都園芸, (102):104-105.
- 岡島一允 (2016) 「赤・緑・青」の不思議な風景を見る. 堺植物, (56):48-50.
- 大分県植物誌刊行会 (1989) 植物目録 オニバス. 「新版大分県植物誌」:420. (口絵に賀来飛霞

- 〈陸之〉の賀来飛霞植物写生図として、オニバスの花と果実の写生図が掲載されている)
- 大分県環境保健部 (1979) 大分県自然環境保全地域候補地調査報告書. 114-122.
- 貞松光男 (1968) 佐賀県におけるオニバスの分布. 佐賀の植物, **3**(3): 25-26.
- 貞松光男 (1969) オニバス追記. 佐賀の植物, **4**(1): 3.
- 貞松光男 (1994) 佐賀市兵庫町に出現したオニバスについて. 佐賀の植物, (30): 19-20.
- 貞松光男 (1995) 山王池のオニバスの再出現. 佐賀の植物, (31): 28-30.
- 桜井善雄・林 一六・渡辺義人・天白精子・大橋通成 (1973) 霞ヶ浦生物調査報告書—水生植物. 建設省霞ヶ浦工事事務所・水資源開発公団霞ヶ浦開発建設所, 78-148.
- 笹川通博・石沢 進 (1989) 新潟県福島潟の植物. 新潟県豊栄市.
- 志賀 隆・川島慎一・間島絵里子・宮下直子・田中啓太 (2001) 新潟市松浜の池 (阿賀野川河口右岸) の植物相. じねんじょ, (23): 45-53.
- 進野久五郎 (1936) 越中の天然記念物解説. 富山師範郷土研究, (2).
- 杉浦金四郎 (1983) 東浦の自然. 知多郡東浦町教育委員会.
- 須古将宏 (1984) 佐賀城お濠のオニバス再び出現. 佐賀の植物, (20): 22-23.
- 田辺盛光 (1978) 千葉県の天然記念物 (植物) (32) 将監のオニバス発生地. 植物手帳, (147): 3.
- 田代晃二 (1972) 「田代善太郎日記 大正編」: 231. (大正 10 年 9 月 4 日に四日市付近オニバスの記録がある)
- 豊中生物同好会 (1958) 「淡水プランクトンと水草」, 50pp.
- 内村芳宏 (2009) 絶滅危惧種「オニバス」に配慮したため池整備事業の実施について. 農業農村工学会九州支部講演会, **90**: 30-33.
- 和田信一 (1923) 「大分県産植物総目録」: 25.
- 山本安弘・渡辺 斉 (1999) オニバス (*Euryale ferox* Salisb.) の生育特性調査と保存栽培. 日本植物園協会誌, (33): 47-52.
- 山本義光 (1953) 「大分植物誌」: 234.
- 米山正寛 (2010) 里の生きものものがたり (10) 水辺から消えるオニバス ため池の管理が復活のかぎ. グリーン・パワー, (382): 24-35.
- 吉田 宏 (1991) 竹ヶ池 (茨木市) のオニバス. 奈良植物研究会会報, (45): 8.
- 吉田 宏 (1992) 竹ヶ池のオニバス, その後… 奈良植物研究会会報, (48): 6.
- 吉田吉之助 (1998) 永い眠りから芽生えた水生植物 牛久沼のオニバス (茨城県龍ヶ崎市). 趣味の山野草, (96): 64-65.
- (ホシザキグリーン財団, ホシザキ野生生物研究所)